



学校法人 弘徳学園  
姫路大学  
豊岡短期大学  
こうのとり認定こども園

# 平成29年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

## I 法人の概要

### (1) 学園設立とあゆみ

本学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、分離・独立し近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体とする「学校法人近畿大学弘徳学園」を設立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、3つの学校を経営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設しました。

本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園を運営する学園となり、平成26年4月に保育園を開園し、幼保連携型認定こども園を開設。平成27年度からは、新制度の幼保連携型認定こども園に移行しました。

平成28年4月1日から、法人名を「学校法人弘徳学園」へ、大学及び短期大学もそれぞれ「姫路大学」、「豊岡短期大学」に名称を変更し、この名称変更に伴い、豊岡キャンパスに設置していた法人本部を、姫路キャンパスに移しました。

そして、平成28年8月に文部科学省より、「姫路大学大学院看護学研究科」の設置認可を受け、平成29年4月に姫路大学に大学院看護学研究科を開設します。

### (2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とします。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えています。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めています。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

## II 事業計画の概要

### (1) 予算編成の基本方針

平成29年度予算編成における基本方針とその概要について

平成28年11月1日

弘徳学園 法人本部

#### ○平成29年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、平成29年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

加えて、姫路大学大学院開設に伴う設置計画の履行が求められておりますので、この設置計画に基づく予算編成となります。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

#### 事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

#### 収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

#### 経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本としている
- 物品調達等の重要性と必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を算定している

## (2) 主な事業の目的・計画等

① 平成29年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別 表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
29- 1	法人本部	姫路大学短期大学部（仮称）開設準備	335,038
29- 2	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	15,000
29- 3	姫路大学	姫路大学看護学部国家試験対策	10,182
29- 4	豊岡短期大学	豊岡短期大学通信教育事務部OCR入替	6,340
29- 5	法人本部	姫路大学大学院看護学研究科博士後期課程の設置認可申請構想（研究科の専攻に係る課程の変更）	5,050
29- 6	法人本部	新規採用職員募集に伴う広告事業	4,000
29- 7	姫路大学	姫路大学教員用PCライセンスの更新	3,610
29- 8	豊岡短期大学	平成29年度豊岡短期大学公開講座の実施について	3,340
29- 9	姫路大学	企画広報室	3,000
29- 10	豊岡短期大学	豊岡短期大学高圧設備機器不良 第1期修繕(全5期)事業	2,636
29- 11	姫路大学	姫路大学教育学部教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	2,237
29- 12	姫路大学	姫路大学看護学部助産師課程の演習器具の整備	2,210
29- 13	姫路大学	人文学・人権教育研究所 学術雑誌『翰苑』発行	2,054
29- 14	姫路大学	姫路大学講義室における教育機器備品の整備	1,880
29- 15	豊岡短期大学	豊岡短期大学 校舎内スピーカー設置工事	1,300
29- 16	豊岡短期大学	豊岡短期大学「和花季ひろば」の開催について	1,000
29- 17	豊岡短期大学	豊岡短期大学50周年記念事業	1,000
29- 18	姫路大学	姫路大学通信教育事務部教務システム改修	951
29- 19	姫路大学	人文学・人権教育研究所 講演会・シンポジウムの実施	632
29- 20	姫路大学	人文学・人権教育研究所 学術講座	213
29- 21	姫路大学	姫路大学看護学部看護学セミナーおよび看護の日啓発事業	582
29- 22	豊岡短期大学	豊岡短期大学「こどもフェスタ2017」の実施	344
事業合計			402,599

② 平成29年度事業計画に係る主な事業の概要説明

(29-1) 姫路大学短期大学部（仮称）開設準備

設置認可申請中（平成30年4月に開設予定）である、姫路大学短期大学部（通学・通信）（仮称）の研究室整備、什器・備品及び図書資料の整備などを行い、開設準備を進めます。

(29-5) 姫路大学大学院看護学研究科博士後期課程の設置認可申請構想

（研究科の専攻に係る課程の変更）

文部科学省より、平成28年8月に認可を受け、平成29年度に姫路大学大学院看護学研究科修士課程を開設します。

さらなる高度な学識を深め、看護の教育・研究また、高度な看護実践力を身につける人を養成するため、博士後期課程の設置に係る認可申請を行う構想を計画しています。

(29-17) 豊岡短期大学50周年記念事業

豊岡短期大学は、平成29年度に開学50周年を迎えます。

この50周年を記念して、記念式典などの記念事業を行う計画です。

(29-2) 姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費

姫路大学硬式庭球部の運營業務と海外を含めた国内外の大会へ出場する遠征業務を委託して、今年度も引き続き、育成する選手の更なる強化を図る計画です。

(29-6) 新規採用職員募集に伴う広告事業

優秀な人材の確保を目的とした、新規学卒者の採用に伴う職員募集を効果的に行うために、昨年度に引き続き複数の就職情報サイトに募集広告を掲載する計画です。

(29-9) 企画広報室

姫路大学の学生募集における高校訪問を戦略的に行うため、昨年度に引き続きプロジェクトを立ち上げ、高校訪問をきめ細かく行う計画です。

## >>施設設備等に関する主な事業

### 姫路大学整備関係事業

- (29-7) 姫路大学教員用PCライセンスの更新
  - ・ 教員用PCのオフィスソフトのライセンス更新を行う計画です。
  
- (29-14) 姫路大学講義室における教育機器備品の整備
  - ・ 講義室における教育環境の充実を図るため、講義室用のプロジェクター、PC、書画カメラ等を整備する計画です。
  
- (29-18) 姫路大学通信教育事務部教務システム改修
  - ・ 必修科目「臨床実習」開講に伴う教務システムの改修を行い、スムーズに実習が履修できる環境を整える計画です。
  
  
- (29-12) 姫路大学看護学部助産師課程の演習器具の整備
  - 看護学部助産師課程の教育環境の充実を図るため、妊娠・分娩・産褥期のいづれにも演習可能な演習器具として、「母性総合シミュレーター」を整備する計画です。

### 豊岡短期大学整備事業

- (29-4) 豊岡短期大学通信教育事務部OCR入替
  - ・ 通信教育事務部においてOCR読取機は、入学処理、成績処理、スクーリング受講処理など教務事務全般を行うために、必要不可欠な機器備品であり、経年劣化による故障に伴う業務停止を回避するため、最新の機種に入替する計画です。
  
- (29-10) 豊岡短期大学高圧設備機器不良 第1期修繕(全5期)事業
  - ・ 豊岡短期大学の高圧電気設備は、30年以上使用し経年劣化が激しく、危険な状態にあるため、設備入替えの修繕計画を5期にわけ、今年度は第1期工事を行う計画です。
  
- (29-15) 豊岡短期大学 校舎内スピーカー設置工事
  - ・ 豊岡短期大学のスピーカーは経年劣化が激しく、緊急時に不測の事態を招く恐れもあるため、アンプとスピーカーを入替する計画です。

## >>学生の就学支援に関する主な事業

### (29-3) 姫路大学看護学部国家試験対策

看護学部における国家試験（看護師、保健師、助産師）対策は、最重要な事業であるため、集中講義ゼミや模擬試験などをきめ細かに行うとともに、学生の学習進度に応じて、補講や個人指導なども加えて、国家試験対策を支援していく計画です。

### (29-11) 姫路大学教育学部教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援

教育学部における重要な事業として、教員採用試験対策を行う計画です。教員採用試験対策講座（筆記試験対策）の開講や面接指導、模擬授業指導など本試験を見据えた内容で、きめ細かに学生支援を行う計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減観点より、昨年度に引き続き交通費の補助を行う計画です。

## >>学術・研究関連事業

姫路大学「人文学・人権教育研究所」の活動計画

姫路大学「人文学・人権教育研究所」では、学術雑誌の発行、学術講座及び実技参加型のワークショップ等を開講しています。

(29-13) 学術雑誌：学術雑誌「翰苑」は、年2回発行し、書店にて一般販売をしています。

(29-19) 学術講座：一般の市民を対象とした学術講座「三木露風の愛と友情」、  
(29-20) 「源氏物語を読む会」など、本年度は6つの講座を開講する予定です。

人文学と人権に関する教育講演会、シンポジウムも開催する計画です。

実技参加型研修プログラムとしての、ワークショップも開講予定です。

## >>地域貢献等を目的とする主な事業

### (29-21) 姫路大学公開講座等の実施

姫路大学では、大学施設の開放を積極的に行い、地域の様々な年代の人との交流を図り、教育機関として社会貢献及び地域貢献事業を行う計画です。

看護学部：一般の市民を対象とした、公開講座（看護学セミナー）の実施を計画しています。

：看護の日啓発事業の実施を計画しています。

- (29-16) 豊岡短期大学では、異世代間交流及び地産地消を通しての地域貢献を目指し、短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば 育ちあいの仲間づくり」と但馬・丹後地域の魅力ある『食』と『地産地消』をテーマに「和花季ひろば 食のフェア」を今年度も計画しています。
- (29-22) また、地域のこどもを集めて「こどもフェスタ」を開催して、学習成果の発信を行うことも計画しています。

#### (29-8) 豊岡短期大学公開講座の実施

豊岡短期大学では毎年公開講座を開催しており、本年度も、著名な音楽家を招き、音楽リサイタルを開催する計画です。

また、パソコン講座についても、ワード（ワープロ基本操作）とエクセル（表計算基本操作）講座を開講する計画です。

毎年、本学の学生はボランティアで参加し、公開講座の開催を支えています。

#### ③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学サポートを行っています。
- ・ 認定こども園では、新しい機能的な園舎にて、地域子育て支援事業、スクーリング預かり保育等の子育てに関する支援事業を行う予定です。

### (3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

姫路大学大学院看護学研究科博士後期課程 設置構想

姫路大学教育学部 学科改編（通学・通信）構想



### Ⅲ 財務の概要

#### (1) 予算の概要

##### ① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増 減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,330,388	2,614,333	△283,945	3,556,205	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	65,591	67,639	△2,048	98,801	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	2,229	
補助金収入	429,158	427,239	1,919	502,368	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	11,466	11,812	△346	11,831	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	95	96	△1	448	・受取利息
雑収入	16,279	16,947	△668	32,155	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	483,080	360,391	122,689	541,593	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	31,188	59,070	△27,882	98,071	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△360,421	△541,606	181,185	△518,960	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,570,822	2,595,673	△1,024,851	2,899,446	・前年度末の現金預金
収入の部合計	4,577,646	5,611,594	△1,033,948	7,224,189	

支出の部	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増 減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要
人件費支出	1,882,199	1,920,543	△38,344	2,044,345	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	764,519	785,634	△21,115	742,363	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	310,486	383,048	△72,562	417,076	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	232,012	6,252	225,760	1,943,527	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	96,096	257,853	△161,757	112,272	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	140,929	777,782	△636,853	108,859	・前期末未払金の支払等
予備費	20,000	20,000	0	0	
資金支出調整勘定	△102,487	△110,340	7,853	△739,926	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,233,892	1,570,822	△336,930	2,595,673	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	4,577,646	5,611,594	△1,033,948	7,224,189	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

#### ※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

教育活動収入の部	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要	
	学生生徒等納付金	2,330,388	2,614,333	△283,945	3,556,205	・授業料、入学金、実習料等の納付金	
手数料	65,591	67,639	△2,048	98,801	・入学検定料等の手数料		
寄付金	0	780	△780	6,812			
經常費等補助金	429,158	427,239	1,919	502,368	・国庫補助金等(施設整備関係除く)		
付随事業収入	11,466	11,812	△346	11,831	・補助活動収入他		
雑収入	16,279	16,947	△668	32,223	・コピー代等その他の収入		
教育活動収入計	2,852,882	3,138,750	△285,868	4,208,240	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入		
教育活動支出の部	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要	
	人件費	1,894,162	1,928,414	△34,252	2,054,441	・本俸他、退職給与引当金繰入額	
	教育研究経費	1,036,989	1,039,756	△2,767	916,500	・教材等教育研究経費及び減価償却	
	管理経費	353,056	424,518	△71,462	454,598	・教研費以外の管理経費と減価償却	
	徴収不能額等	0	0	0	0		
	教育活動支出計	3,284,207	3,392,688	△108,481	3,425,540	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出	
教育活動収支差額	△431,325	△253,938	△177,387	782,701	教育活動における事業活動収入と支出の差額		
教育活動外収入の部	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要	
	受取利息・配当金	95	96	△1	448	・預金利息他	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
	教育活動外収入計	95	96	△1	448	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入	
教育活動外支出の部	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要	
	借入金等利息	0	0	0	0		
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
	教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出	
教育活動外収支差額	95	96	△1	448	財務活動における事業活動収入と支出の差額		
經常収支差額	△431,230	△253,842	△177,388	783,149	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額		
特別収入	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要	
	資産売却差額	0	0	0	0		
	その他の特別収入	0	13,554	△13,554	13,348		
	特別収入計	0	13,554	△13,554	13,348	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入	
	特別支出	科目	H29年度予算(当初)	H28年度予算(補正)	増減	参考値(H27年度決算)	平成29年度予算概要
		資産処分差額	0	34,379	△34,379	5,444	
その他の特別支出		0	794	△794	0		
特別支出計		0	35,173	△35,173	5,444	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出	
特別収支差額	0	△21,619	21,619	7,904	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額		
[予備費]	20,000	20,000	0				
基本金組入前当年度収支差額	△451,230	△295,461	△155,769	791,053	◎事業活動収入と支出の差額と等しい		
基本金組入額合計	△328,108	△873,079	544,971	△1,425,877	・第1号基本金及び第4号基本金		
当年度収支差額	△779,338	△1,168,540	389,202	△634,824			
前年度繰越収支差額	△2,037,172	△868,632	△1,168,540	△233,808			
基本金取崩額	0	0	0	0			
翌年度繰越収支差額	△2,816,510	△2,037,172	△779,338	△868,632			
(参考)							
事業活動収入計	2,852,977	3,152,400	△299,423	4,222,037			
事業活動支出計	3,304,207	3,447,861	△143,654	3,430,984			

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

### ※ 事業活動収支とは

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度決算より「消費収支予算書」から様式を変更して作成することとなった予算書が、「事業活動収支予算書」です。この、事業活動収支は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入とし、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を、事業活動支出として、事業活動区分ごとの収入と支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることを目的として作成するものです。事業活動の区分は、経常収支と特別収支に区分され、経常収支は、教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と教育活動外収支（経常的な財務活動等）で構成され、特別収支は、特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支を計上することになっています。

事業活動区分ごと… 教育活動収支と教育活動外収支の経常収支と前記以外の特別収支の区分

### ③ 予算概要の説明

#### 資金収支予算について

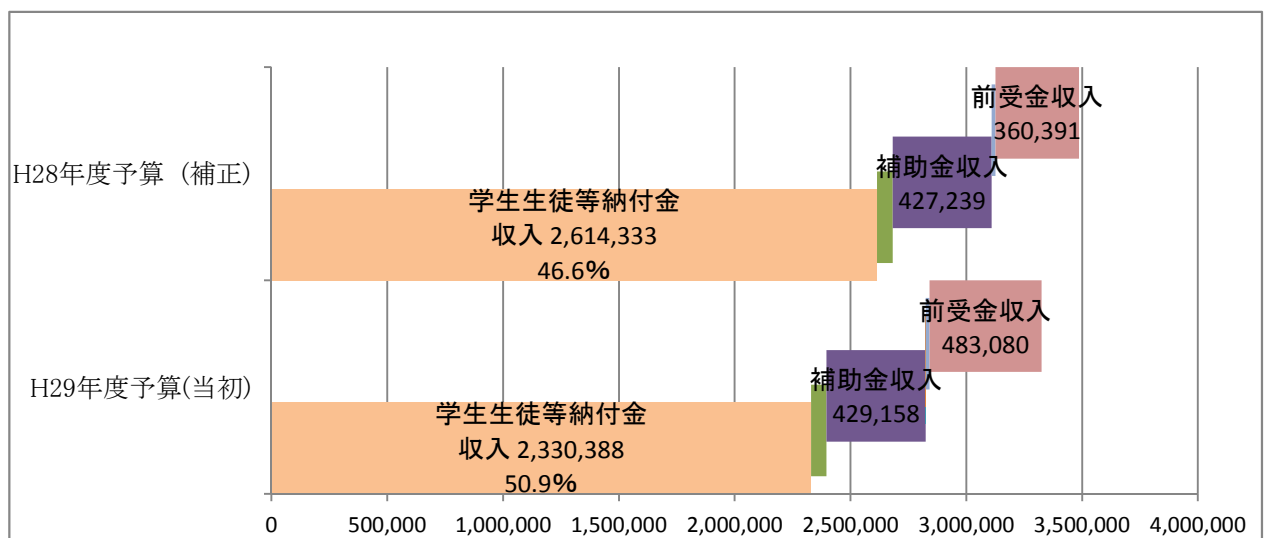
平成29年度資金収支予算は、平成28年度予算及び平成27年度決算に比べて、収入予算も支出予算も予算規模を圧縮しています。

収入予算は、在籍学生数等の減少により、学生生徒等納付金 約2億8千4百万円の減少をはじめ、収入全体が減少しています。

支出予算は、平成28年度は、新2号棟に関する大型の設備投資による支払計画が計上されていましたが、平成29年度は、短期大学部設置認可申請に係る設備投資を計上したほかは、在籍学生数見込みに応じた、支出予算を計上しているため、前年度に比べて、大きく予算額は減少しております。

よって平成29年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は、平成27年度決算より、約△13億6千2百万円の減少、前年度の平成28年度予算から、3億3千7百万円の減少が見込まれる、約12億3千4百万円となります。

#### 資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

## 事業活動収支予算書について

平成29年度の事業活動収支予算における、教育活動収支と教育活動外収支の差額の計である経常収支差額は約△4億3千1百万円、特別収支差額は0円です。この活動収支の差額に予備費を加えた基本金組入前当年度収支差額は、約△4億5千1百万円の赤字となる予測です。

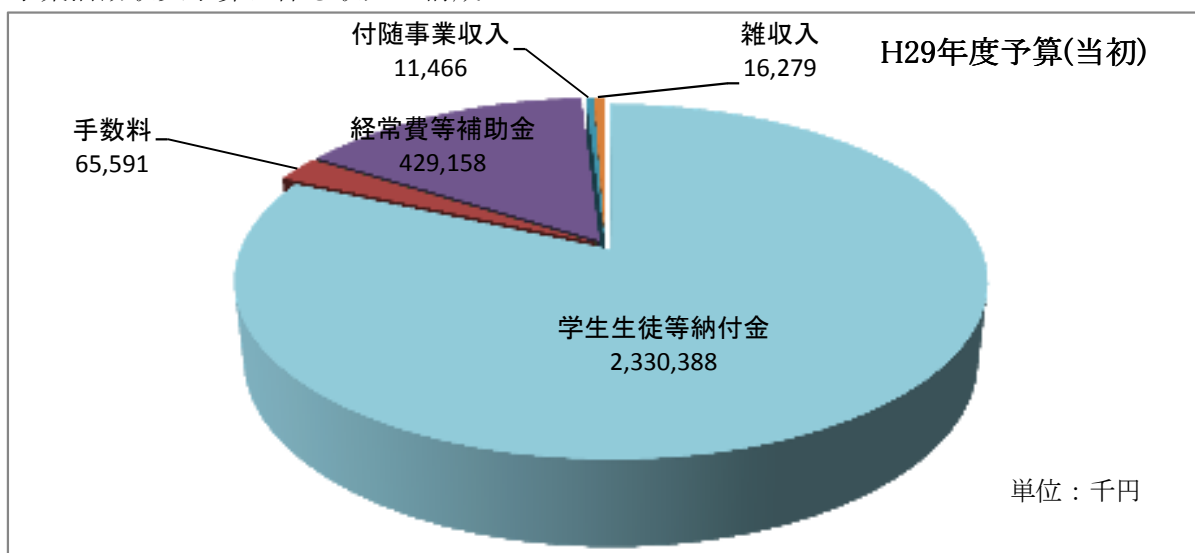
事業活動収支差額に基本金を組入した当年度収支差額は、約△7億7千9百万円の赤字、前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、約△28億1千7百万円の累積赤字となる予測です。

平成26年度決算までは、単年度の収支差額は黒字であったため、翌年度繰越収支差額いわゆる累積赤字を順調に圧縮してきましたが、平成27年度からは、姫路大学新2号棟建築の大型設備投資の支払計画等により、経費の増加と基本金の組入額が大きく、単年度の赤字に加えて、累積赤字も大きく増加してきました。

平成29年度は、在籍学生数の見込みが減少するため、収入予測も減少していますが、支出については、短期大学部設置認可申請に係る大型の設備投資を行う計画のため、引続き累積赤字を圧縮できない予測です。

### 構成図①

事業活動収支予算に係る収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

